

事業の基礎情報

実施主体	神戸市
事業実施地域	神戸市内
共創の類型	交通事業者間共創
他分野共創の類型	
共創パートナー	神戸市交通局、山陽バス株式会社、神姫バス株式会社
運行形態	路線バス
運行主体	市内の路線バス事業者（神戸市交通局、山陽バス株式会社、神姫バス株式会社）

取組の概要

（現状の地域課題と事業目的）

- 神戸市内において、市バスと複数の民間バスが協力し、地域の日常を支えるきめ細かな路線バスネットワークを構築している。
- しかしながら、急速な少子高齢化の進展による人口減少に加え、新型コロナの感染拡大及びそれを契機とするテレワークの普及などによる市民の行動変容により、神戸市内のバスの利用者は大幅に減少しているなか、バスの利用促進を図り、将来にわたって路線バスネットワークを維持する必要がある。
- そのため、市内で路線バスを運行する交通事業者間で連携・協働により、バス運行システムを改修し、路線バス全体のサービスを向上させ、「神戸のバス」として更なる利用促進を図る。

（事業の概要）

- 市バスで実施している「乗継割引制度」のシステム改修により、先行して神姫バスー市バス間で乗継割引を適用するとともに、山陽バスについても早期適用に向け協議する。

事業の全体像・共創の仕組み



実施主体

神戸市交通政策課

プラットフォームの事務局
プラットフォーム拡充に向け、他社と協議



運行主体

路線バスネットワークの維持
わかりやすく使いやすい料金体系の構築

関係社局間との調整
「神戸のバス」としてのブランディング・広報

山陽バス株式会社

市内で「神戸のバス」を運行
※現在は、**共通乗車ポイントサービスのみ実施**

運賃・サービスの
統一化

神戸市交通局

プラットフォームの事務局
プラットフォーム拡充に向け、各社と協議
市内で「神戸のバス」を運行

運賃・サービスの
統一化

神姫バス株式会社

市内で「神戸のバス」を運行
※現在は、**普通区間定期の共通化のみ実施**

取組の詳細

(地域の関係者との連携・協働)

- 神戸市では、複数の交通事業者が路線バスを運行しており、交通事業者が異なれば、運賃・サービスが異なる。
- 路線の中には、市バスと民間バスが共同運行している路線があり、山陽バスとの共通乗車ポイントサービスや、神姫バスとの一部路線における普通区定期券の共用等、各社局間で利便性の向上に努めてきた。
- 一方で、市バスの乗車で貯めたポイントを神姫バスで使用できない、市バスの定期券で山陽バスの共同運行路線を乗車できない、市バスと市バスを乗り継ぐ場合の割引サービスが民間バス事業者との乗り継ぎでは利用できない等、共同運行路線にも関わらず、サービスの適用を受けるために、乗車するバスを交通事業者で選択する等の不便が利用者に生じている。

(実証事業により見込まれる効果)

- 各社乗継割引実施に伴い、路線バスの乗継におけるサービスが向上し、利用者が増加する見込み。

取組の詳細

(事業実施手順・スケジュール)

	R6 (2024)												R7 (2025) ~
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
神戸市バス					システム改修		更なるシームレス化の推進						
山陽バス							更なるシームレス化の推進						
神姫バス	改修するシステムの調整				システム改修		乗継割引を適用した実証運行						
							更なるシームレス化の推進						

(補助事業実施後の予定)

- 今年度は、「乗継割引制度」が各交通事業者間においても適用されるようなシステム改修を行い、神姫バスとは令和6年10月のサービス開始を目指し、山陽バスとは実施に向け協議を続ける。
- 今後、「共通乗車ポイントサービス」「普通区定期券の共通化」といった運賃・サービスを統一化し、「神戸のバス」として運行することで、利用者が運行主体を意識することなく乗車できる環境を構築し、利用促進を図り、事業者の収益改善に繋げ、補助事業実施後も持続可能な市内の路線バスネットワークを維持する。